



BETHEL通信

2021年9月号（第218号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL 089 - 925 - 5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

感染防止をするということ

道後ベテルホームから松山ベテル病院に異動となり、早 1 年半となりました。松山ベテル病院に異動になった 2020 年 4 月から感染防止委員にも任命され、「COVID-19」の感染対策に大きくかかわることになりました。これまでも「疥癬」「インフルエンザ」「ノロウイルス」といろいろな院内感染を経験してきました。しかしこれほど全世界を巻き込んだ感染症に取り組むのは皆はじめての経験であり、わからないことばかりでした。

「持ち込まない」を基本として、面会を制限したり、禁止したり、行動を制限したり、ルールをもうけたり、いろいろな対策をとるなかで、ご協力いただいている患者さま・ご家族さま・職員の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

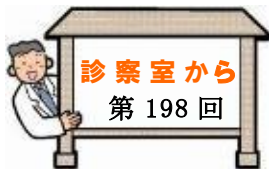
これまでは、ベテル病院看護部の理念でもある「その人らしさを大切にしたケア」を中心に、患者さま・ご家族さまへのケアを考え看護してきました。感染と患者さまを含めたご家族さまへのケアをどうとらえていくか、葛藤の多い日々です。しかし安全で安心な環境を最優先に考え、判断しなくてはならない毎日です。

この原稿を書いている今、愛媛県は感染対策期で、91 名のコロナ陽性患者が発生しています。どんどんウイルスが変異していき、感染力の強いウイルスへと変わり、予断を許さない状況です。

しかしワクチン接種が進み、治療薬も開発され、重症化することがなくなる時がくると思います。

そしてマスクを外し、笑顔をかわせる時がくる日を願っています。

（ 2 階病棟看護師長 稲葉 千春 ）



援助的コミュニケーション

苦しみを抱えた人に、誠実に向き合い、援助するためのコミュニケーションを指します。「苦しんでいる人は自分の苦しみを分かってくれる人がいると嬉しい」という視点が、基本です。

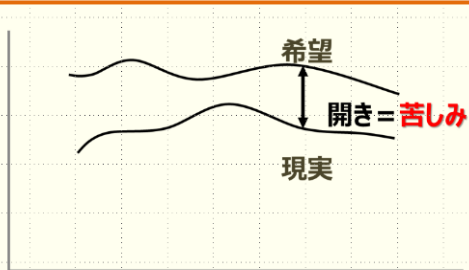
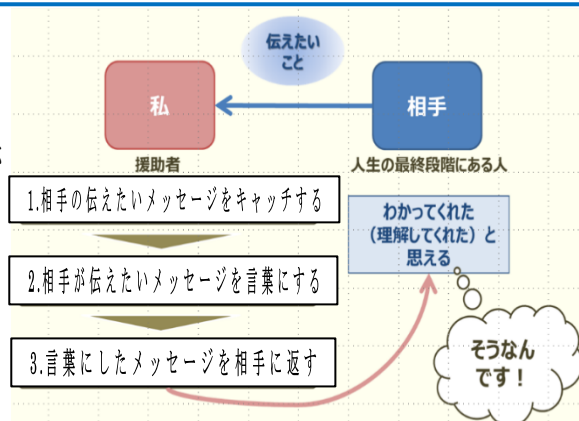
私が相手を理解しようとすることは大切です。一番悲しいのは無視をしてしまうことです。でも、どれほど相手の立場になって心を尽くし考えたとしても、相手の苦しみを100%理解することはできません。主語を入れ替えます。私が相手を理解できなくても、相手が私を「分かってくれた」と思うことは可能性があります。では、どんな私であれば、相手から見て分かってくれる人になるのでしょうか。それは、励ましでもなく、説明でもなく、聴いてくれる私です。

「分かってくれる人」になるための聴き方に、反復・沈黙・問いかけの技法があります。ご家庭で、職場等で、反復と沈黙など援助的コミュニケーションを試してみたいはいかがでしょうか。

- [反復] ① 相手の伝えたいメッセージをキャッチする。
② キャッチしたメッセージを言葉にする。
③ 言葉にしたメッセージを返す。

相手が分かってくれたと思えた時、出てくる言葉が「そうなんです」「そうそう」「ほうなんよ」など。

苦しんでいる人は誰にでもその苦しみを打ち明けるわけではありません。相手から見て話しかけやすい雰囲気をお願いした上で、相手の苦しみに気づく感性を養う必要があります。



苦しみとは、希望と現実の開き。

何気ない相手の言葉や態度に多くの苦しみを含むメッセージがあることに気づきます。例えば、買い物に行きたいが、一人で外出できない。朝ゆっくり寝たいが、6時に起きないといけない。遠方の孫に会いたい、コロナ禍で帰省できないなど、希望と現実を視点に苦しみを考えます。

[沈黙] 相手の大切な言葉が出るまで待つ時間。

[問いかけ] 反復と沈黙を用いて丁寧に気がかりを伺い共に苦しみを味わうプロセスを通して信頼関係が構築した上で、問いかけることができれば、支えに気づくことができるでしょう。

- 例) A) 昨日の夜は眠れませんでした。
N) 昨日の夜、眠れなかったんですね。
A) **そう。**
.....
A) 妻の手術がうまくいくかどうか考えだしたら心配で。
N) 奥さんの手術のこと、心配なんですね。
A) 長年、連れ添ってきたから.....
N) 長年、連れ添ってこられた奥さん。 **どんな奥さんですか？**
A) わしには過ぎた女房よ.....

(反復)

(沈黙)

(反復)

(問いかけ)



※「死を前にした人にあなたは何かができますか？」小澤竹俊著／ELC 援助者養成基礎講座テキストより引用)



医療安全管理室よりこんにちは

2020年4月から、医療安全管理室が、3階コミュニティCAFÉ「こもれびの森」の並びに引っ越しました！

そこで、毎月、各部署から提出されるヒヤリハット報告書の集計を行っています。

報告書とにらめっこ、医療安全管理マニュアルを穴が開くほど見て、パソコン入力 。

そんな時間も、医療安全管理室の窓から見える

山の景色、鳥の ^{さえず} 囀り 、「こもれびの森」から

聞こえてくる、患者さまとご家族・スタッフの楽しそうな笑い声や、歌 、コーヒーのいい匂い  に癒されています。



「失礼しま〜す」と、こもれびの森からクランクが声をかけてくれたり、施設管理課のスタッフが快適に過ごせるように環境を整えてくれたり、病棟のスタッフも気にかけて覗いてくれたりと、病棟を離れ、医療安全管理室の勤務中にはスタッフの心遣いのありがたさを感じ、また、力をもらっています。

医療安全委員会は、医療安全管理者の松井師長、中橋院長、中野看護部長をはじめ、看護師・介護職・リハビリ・薬剤師・栄養士・事務の、多職種がチームとなって活動しています。

それぞれの専門的視点で見る事が出来、たくさんの安全対策が生まれました。

**医療安全委員は
このマークを名札につけています**



安全

安心

「部門の壁を乗り越えて、意見交わせる職場をつくろう

3・4月の医療安全推進目標です。

皆さんが教えてくださった、現場の声（ヒヤリハット報告書）、一つ一つを大切にし、患者さま・ご家族・スタッフの安全を守り、安心出来る環境となるよう、チームで取り組んでいきます！

（医療安全管理室 3階東病棟看護主任 荒木 一恵 ）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

9月8日（水）、9月22日（水）

◎ 多田 聡 医師（神経内科）

9月2日（木）、9月16日（木）、9月30日（木）

◎ 細川 裕子 医師（神経内科）

9月9日（木）

◎ 奥村 淳子 医師

9月22日（水）休診

◎ 加藤 喜久美 医師（内科）

しばらく休診いたします



● 月曜日午後の漢方外来は引き続き休診いたします

新任医師紹介

おざき えみ

尾崎 絵美 医師



診療科目：内科

得意分野：褥瘡管理

出身大学：愛媛大学

研修医終了後、形成外科で勤務してきましたが、今後は内科で勤務させていただきます。新しい分野になり、分からないことも多くありますが、様々な方との関わりを通じながら内科医として成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

プロフィール

<出身地>	愛媛県
<趣味>	音楽鑑賞
<略歴>	
2004年	愛媛大学附属病院研修医
2005年	愛媛県立中央病院研修医
2006年	愛媛県立中央病院形成外科
2007年	北九州総合病院形成外科
2008年	山口県立総合医療センター形成外科
2009年	愛媛県立中央病院形成外科
2021年	現在に至る

新人紹介

なかむら りか
中村 梨加

配属部署：外来
職種：看護師
出身地：高知県
座：てんびん座
趣味：新聞の一般読者のおなやみ相談を読むこと
好きな物：すみっこぐらし
尊敬する人：働いている人みんな
好きな言葉：七転び八起き
抱負：出産後、2年ぶりに現場復帰しました。3児の母です。至らない点があると思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。



夏休み
親の心配

（千 隆）
子は知らず

コスモスの
向こうに見える

（藤本 加奈子）
一両者

菜の花や
五郎下灘

（平岡 恵風）
瀬戸は風

ベテル旬会

投句箱は受付・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。

掲載中の記事についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2021年8月23日